

第 16 回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の意見とその対応

- 1 日 時 令和 6 年 10 月 29 日（火） 13：30～15：00
- 2 場 所 富山県民会館バンケットホール
- 3 内 容
 - (1) 表彰式
 - (2) 議 事
 - ア 富山県食品ロス削減推進計画の見直し（素案）について
 - エ 意見交換

4 主な意見の概要

委員意見	対応等
<p><計画素案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の環についても総論で触れたほうが良い。 ・過剰除去について記載したほうがよい。 ・子どもたち、親に向けてのことをいれてほしい。 ・実行に向かうような内容の、計画のダイジェスト版がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総論に追記しました。(P1) ・「家庭における食品ロス削減の取組み」として、「過剰除去が発生している現状や、捨てられがちな部位の活用方法について情報発信することにより、過剰除去の削減を推進します。」を追記しました。(P20) ・「児童生徒に対し、教科学習等を通じて食品ロスの削減に関する理解と実践を促します。」を追記しました。(P19) ・計画のダイジェスト版を作成します。
<p><事業系食品ロス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組みの成果を「見える化」して具体的に発信していくことが重要。 ・商慣習見直し宣言事業者の数が少ない。今後増えていくとよい。 ・食べ残しの持ち帰りについて、安易に持ち帰って食べられないことがないか懸念している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国や他県のデータ等も活用し、成果の「見える化」に取り組んでまいります。 ・商慣習見直し宣言事業者が増えるよう呼び掛けてまいります。 ・食べ残し持ち帰りガイドラインに基づき適切な保管や速やかな喫食等について周知を行います。

<食品ロス全般>

・若い世代への効果的なアプローチが必要。啓発だけでなく小さいころから体験を伴うようなことが必要。

・食品ロスの内容をいろんなメディアを通じて若い人に伝えていかなければいけない。

・食品ロスの重点課題を何に絞るのか検討したほうが良い。

・コロナ前は3015運動をやっていたが、最近は行っていない。気を引き締めてやっていきたい。

・学校のカリキュラムの中に食品ロスを取り組んでいくことが大事。

・消費者庁の食品ロス削減推進サポーターを活用してほしい。

・園児や小学生が参加する収穫体験などの農林漁業体験をJA女性組織協議会や各市町村と連携して行っています。引き続き、食育を通じて食の大切さを伝えてまいります。

・動画やSNS等のデジタルコンテンツ・ツールを活用するほか、若い世代が集うイベント等を通じて伝えてまいります。

・若い世代を中心とした消費者教育や未利用食品の有効活用に力をいれてまいります。

・冷蔵庫の中身を30日・15日に確認する「使い切り3015運動」を動画で啓発するほか、宴会時での「食べきり3015運動」が定着するよう様々な場で呼びかけてまいります。

・教科学習等を通じて食品ロスの削減に関する理解と実践を促してまいります。また、小学4年生を対象に行っている「とやま環境チャレンジ10」において、家庭での食品ロス削減の実践を引き続き呼びかけてまいります。

・サポーターには県事業の情報発信等にもご協力いただいております。引き続き、各分野での周囲への食品ロス削減の啓発にご協力いただくほか、サポーターが活動しやすいよう情報提供や啓発ツールの配布等を進めます。

<未利用食品の有効活用・再生利用>

・登録再生利用事業者の認定制度を活用してリサイクル化を進めてほしい。

・市町村の一般廃棄物処理計画の中に食品リサイクルの推進を掲げ、その率を高めることが必要。

・フードシェアリングサービス等の事例もある。規格外野菜の有効活用をしていくべき。

・他県では食品メーカーが集まって子ども食堂に食品を提供する動きがある。富山県もチャレンジしてみてもよいのでは。

・まずは堆肥化、飼料化等に取り組む事業者について情報収集してまいります

・県内市町村では、一般廃棄物処理計画に食品廃棄物の削減、リサイクルの推進を掲げ、コンポスト容器の補助の他、先進的な取組みとしてモデル地区での生ごみの堆肥化等が行われています。県ではリサイクルの先進事例について情報共有を図るとともに、市町村と連携し、使い切り 3015 運動など県民の食品ロス削減・食品リサイクルの普及促進に取り組んでまいります。

・規格外野菜等については発生量の削減に向け栽培技術指導を行うとともに、その活用について啓発してまいります。

・フードバンク活動等により子ども食堂へ食品の提供を行っています。より円滑な受け渡しとなるよう検討してまいります。